

科目番号	16	科目名	世界遺産のまちづくり・ひとづくり	
英文科目名	World Heritage Studies;City Plannig & Human Resource Development			
大学・短期大学名	滋賀県立		大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)			
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472
担当教員	上田 洋平		(地域共生センター 講師)	
実施方法	対面授業			
教室名	講義室未定	会場	本学以外の会場も使用予定	
授業期間	2023年10月2日(月)～2024年1月29日(月) <毎週月曜日> 3時限・講時 13 : 10 ~ 14 : 40			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)	60		%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他(議論、調査・提案)	40		%
別途負担費用	(なし)		あり()円	
その他特記事項	但し、期間中の土曜日に彦根城の現地見学をする予定			
<講義概要・到達目標>				
<p>世界遺産とそれをめぐる人びとの営みについて様々な視点から議論することを通じて、地域固有の文化及び自然の遺産を守り・活かすまちづくりとそれを担う人材について総合的に学ぶ。</p> <p>具体的には世界遺産とそれに関わるまちづくりについての基本・本質を押さえたうえで、全国各地の世界遺産及び世界遺産をめぐると状況に題材を採ったケースメソッド、彦根城(およびその関連遺産)の世界遺産登録に向けた産官民の取り組みを生きた教材とするワークショップ、文化遺産を活かしたまちづくり事業の提案等に取り組む。</p> <p>これによりまちづくりの現場で生きる知と実践力、さらには世界市民として当事者として活動する動機や心構えを体得する。</p> <p>国内世界遺産都市の担当者や当事者をゲストに招き、また、2024年に世界遺産登録を目指す彦根市の関係者や当事者とともに学ぶ。</p>				
(到達目標)				
(1)世界遺産の本質について理解し説明できる。				
(2)世界遺産のまちづくりを進める上での課題とその解決の方向性について理解し説明できる。				
(3)世界遺産都市の「まちづくり」「ひとづくり」「なりわいづくり」について考えをまとめ・提案できる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月2日	世界遺産とは何か——世界遺産から何を学び、どう活かすか		
2	10月9日	世界遺産は誰のもの?——文化財保存と文化資源活用の動向		
3	10月16日	世界遺産の保護とその危機——文化資源の持続可能な保護を目指して		
4	10月23日	世界遺産と現代都市——新旧共存のための戦略と制度		
5	10月28日	フィールドワーク——彦根城		
6				
7	10月30日	世界のなかの彦根と彦根城——彦根における取り組みの現状と課題		
8	11月13日	ワークショップ:「まち・ひと・しごと三方よし」の世界遺産都市を目指して①		
9	11月20日	世界遺産と企業活動——まちづくりに果たす企業の役割とその矜持(しごと)		
10	11月27日	まちの宝を次世代につなぐ——世界遺産と人材育成(ひと)		
11	12月4日	世界遺産のまちづくり——官民一体で守り・活かす世界遺産(まち)		
12	12月11日	ワークショップ:「まち・ひと・しごと三方よし」の世界遺産都市を目指して②		
13	12月18日	ワークショップ:「まち・ひと・しごと三方よし」の世界遺産都市を目指して③		
14	12月25日	ワークショップ:「まち・ひと・しごと三方よし」の世界遺産都市を目指して④		
15	1月22日	ワークショップ成果報告会&交流会		
<教科書・参考書>				